



# 悪堕ちた艦SSS

ショートシリーズ  
#01

スズネ屋 によろ  
こそ!!

某日、1人の艦むすが偽装を剥がされ、為す術のないまま運ばれてくる。

怪しげな障気と湿気で満ちた部屋で、重巡プリンツ・オイゲンに  
複数の触手が伸びる

深刻な失態により戦場で疲弊し、鹵獲され、この淫靡な香りに  
包まれた空間に丸2日ほど放置された彼女は  
ひどく淫猥な感情にとらわれていた。

伸びてきた触手を自ら受け入れ、陰茎差し込む。まるでそうすることが  
当たり前のように…



はあ♡♡♡はあ♡♡♡はあ♡♡♡はあ♡♡♡はあ♡♡♡はあ♡♡♡

やあ♡♡♡♡♡おちゅゆ、溢れちゃう♡♡♡はああ♡♡♡

はあ♡♡♡

ゴッ♡♡♡

ゴッ♡♡♡

ゴッ♡♡♡

はああ♡♡♡

お願い……♡♡♡ もっと私をらでめて♡♡♡

私、悪い子なんです♡♡♡

だからもっとお仕置きしてください♡♡♡

お願いします♡♡♡





お願いします♡♡♡♡♡  
私のいやらしいま○ことおしりに♡  
たくさんたくさん♡♡♡♡♡  
エッチな汁を注いでください♡  
ご主人様の特濃ザーメン♡♡♡♡♡  
私のドスケベドイツおま○こ♡♡♡♡♡  
満タんにしてください♡♡♡♡♡

ああん♡

ああん♡

ああん♡

腰が止まらないよ♡  
奥でかき回さるのしゅきい♡  
もつとちよいうだい♡  
こわれてもいかり♡  
もつとちよいうだい♡  
じめてええ♡  
らええ♡

んん♡

んん♡

んん♡





……プリンツ・オイゲンがそう身も心も捧げる決意を告げると  
身体の中心から下腹部にかけて、なにかが湧き上がるのを感じた……  
それは重油のように黒くて重く、熱くドロドロとして渦巻いた得体のしれない物

だが不思議と恐怖心はなく、それどころかこれまで感じたことのない快樂的衝動……  
そして新しい主人への恋慕にも等しい忠誠の心……

その感情を彼女はすべて受け入れ、そして溺れるように酔いしれる……  
これから起こるであろう変化を感じながら彼女は暗闇で妖艶に笑う……





プリンツ・オイゲンが連れられた場所は、薄暗く、生暖かく、甘くそれでいて生臭い香りが充満した空間だった。どこからともなく聞こえる気がする声に従順に従いプリンツ・オイゲンは自ら股を開く…  
だらしなく開いた彼女の陰部は、ひくひくと痙攣し快楽を求めるように卑猥に鳴るのであった……

なすがままされるがままに、頭に何か装置のような生き物のようなものが取り付けられると、腹部に紋様が浮かび上がるそれと同時に体の奥から熱くどす黒き快楽が湧き上がるのを感じるのであった…。



はああ…はあはあ♡  
ご主人様あ♡  
は、はやくう♡  
私のおま♡こ…ご主人様のおち♡ぽお欲しくて♡  
くちゅくちゅ♡いっ♡て♡ま♡す♡♡  
おち♡ぽおち♡ぽおち♡ぽお♡♡  
♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

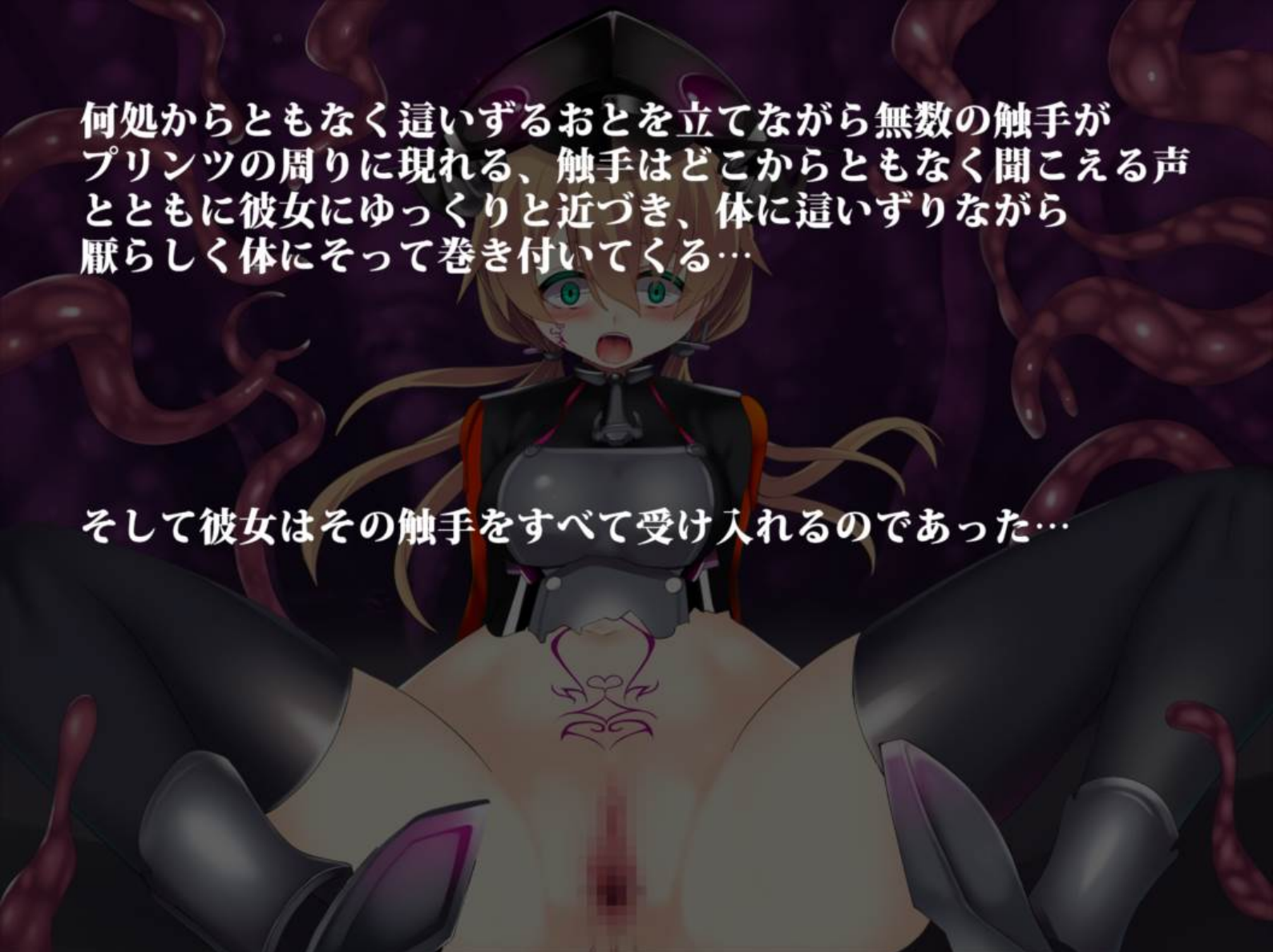


もう頭がおかしくなりそうです♡  
体の奥が熱いんです♡  
このおま♡こはもうご主人様のもの♡  
お願いします♡ご主人様のおち♡ぽ♡  
私の淫乱スケベ♡を♡ご主人様♡好みの♡  
ま♡こ♡に♡し♡て♡く♡だ♡さ♡い♡♡



何処からともなく這いずるおとを立てながら無数の触手がプリンツの周りに現れる、触手はどこからともなく聞こえる声とともに彼女にゆっくりと近づき、体に這いずりながら厭らしく体にそって巻き付いてくる…

そして彼女はその触手をすべて受け入れるのであった…















はああ♡ はああ♡ はああ♡  
 もう…らめえ…♡♡♡  
 はああ…♡♡♡ ご主人様あ…♡♡♡  
 最高です♡♡♡ はああ♡♡♡  
 あはツ♡♡♡ はああ♡♡♡

はあ♡  
はあ♡

はあ♡  
はあ♡

はあ♡  
はあ♡

もう…♡♡♡ からだあ全部きもちいいの♡♡♡  
 わたし…♡♡♡ 幸せです♡♡♡ ご主人様の  
 女にしてもらって、いま最高の気分です♡♡♡  
 もう…このち○ぽなしじや生きてけないです♡♡♡



あああん♡♡♡♡♡  
 あああ：：♡♡♡♡♡  
 はああ：：♡♡♡♡♡  
 いやん♡♡♡♡♡  
 おま○こまだヒクヒクしてる♡  
 こんなきもちいいことあるなんて知らなかつたあ♡  
 こんなこと覚えちゃつたら私困っちゃう♡  
 ビスマルク姉様たちにも教えてあげなきや♡  
 ぜったい喜んでくれるわ♡♡♡♡♡

ああん♡♡♡♡♡  
 トロ♡♡♡♡♡

早速迎えにいかなくちや♡♡♡♡♡  
 ついでにアドミラルもからかつてあげましょう♡  
 ふふふ♡♡♡♡♡ うふふふ♡♡♡♡♡  
 これから忙しくなりますね♡♡♡♡♡  
 ご主人様♡♡♡♡♡



あれ？てーとく？  
また勝手に射精しようどしました？  
許さないよ？ フフフ♥

フフフ...♥



この奇妙な空間にとらわれてから数日が過ぎていた……

かつて提督と呼ばれていた男は無残な姿になれ、数々の責め苦を味合わされていた身も心もボロボロにされ、すでに彼の精神は崩壊寸前だった。

そしてその男を責め続けるのは、敵の手に堕ち、姿も心も変えられてしまったかつての部下「プリンツ・オイゲン」だった。

彼女と彼女に付き従う淫猥な触手により、男の性器は弄ばれ、暴力的な快楽と罪悪感に似た何とも言えぬ高揚感を押しつけられる。

そうなった男はもはや抗うことができない、与えられた快楽に陶酔しているかのごとく、彼女のいうがまま、されるがままの卑しい存在まで身を堕としていた…



あれれ？ てーとくってばもしかしてもう限界？  
締りがわるいダメち○ぼなのねえ♡

こんなのじゃ私が楽しめないじゃないですかあw  
ふふふふ♡♡♡♡♡

それそれ♡♡♡うああ♡♡♡  
てーとくのダメち○ぼはもうパンパンでちゅねえ♡

ビクビクッてだらしなんだあ♡♡♡  
ねえ、てーとくう？ もう出したい？

出して気持ちよくなりたい？

ふふふふ♡♡♡ 必死だあ♡♡♡  
今のでーとく、惨めでかわいいですよ♡♡♡

それじゃあ今から少しイジメてあげる♡♡♡  
それを耐えられたら出していいよ？

ふふふふ♡♡♡ せええ♡♡♡の♡♡♡  
ふおいああ♡♡♡

どいどい♡♡♡

ビクと♡♡♡

♡♡♡

フッフッフ♡♡♡





ふおいあああああああ



きゃほ

どい

どい

しゅ





あらら〜うええ〜くっさああい♡♡♡  
やっぱり我慢できないダメち○ぼだったね  
これはもうダメダメ♡  
こんな言うこと聞かないダメな奴は  
いいい〜らない♡♡♡  
やっぱりこんなダメで〜とくに  
ビスマルクお姉さまはまかせておけないなあ〜

お姉さまは待つてで下さい♡♡♡  
今から私が迎えに行きますからああ♡♡♡  
ふふふふふ♡♡♡♡♡

あ、ゴミで〜とくはもういらないうでココの子達と  
勝手に遊んでください♡♡  
私はお姉さまと一緒にご主人様に遊んでもらいますから♡♡  
じゃあねて〜とく♡♡♡

Auf Wiedersehen

ドフ♡♡  
ゴボ♡♡



## 数ヶ月後……

深海棲艦に加わったプリンツ・オイゲンにより戦線は大いに傾いた。  
ビスマルクを始め、多くの艦娘が彼女の魔の手に落ちていった…

鹵獲された艦娘はみな洗脳され、彼女の下僕のように付き従う…  
みなうつろな目をしてよだれを垂らし彼女に厭らしく絡みつく。  
この空間はすでに彼女のための空間となっている…

そしてその中に以前提督と呼ばれてた男が連れてこられた…



グーテンターク、元アドミラルさん♡♡♡  
私達が恋しくなっちゃって追いかけて来ちゃったのかな？♡♡♡  
クスクス♡♡♡ 寂しかったのかな？♡♡♡ かわいい♡♡♡  
あ、それともまたち○ぽいじめで貰いに来たいの？♡♡♡  
くすくす♡♡♡ ほんと貴方ってダメな人ねえの？♡♡♡



でも見たらわかるでしょ？私って今忙しいの♡♡♡  
だって見て？♡♡♡ こんなに下僕が集まったの♡♡♡  
みーんな貴方の艦隊の娘だよ♡♡♡ 相手はすくす♡♡♡  
今は貴方のことなんてこれっぽちも相手にして♡♡♡  
くれないけどね♡♡♡ ふうふうふう♡♡♡



クスクス♡♡♡  
お前なんて足置きで十分♡♡  
光栄に思ってたね♡♡♡  
え？羨ましい？ふふふ♡♡♡  
それはこの子たちに相手にして  
もらえる私に？  
それとも奴隷とし相手として  
もらえてるこの娘たちが羨ましい？  
正直に言えたらご褒美上げる♡♡♡

ほらあ〜♡♡♡♡♡  
正直にっただほうがいいよ？  
そのほうが楽しいよ♡♡♡♡♡  
ふふふふ♡♡♡♡♡  
それに貴方が変態なのはもう  
バレちゃってるんだから♡♡♡  
つまらない意地はらない  
ほうがいいよ♡♡♡♡♡

ほらほらほらあ〜♡♡♡♡♡  
くすくす♡♡♡♡♡  
この子たちみたいに貴方も  
いじめて欲しいんでしょ♡♡♡  
ふふふ♡♡♡♡♡  
ほら〜「いじめてください」って  
いつてみなよお？  
ふふふふふふ♡♡♡♡♡

グッ  
グッ  
グッ  
グッ





淫靡に響く彼女の声が空間にこだまする…  
怪しく蠢く触手……、絶えず聞こえる息遣いと喘ぎ声……  
彼女のが創り出す空間にみなただただ酔いしれ淫れ、歡喜する

数日経つとまた新しい艦娘がこの空間に送られてくる…  
洗脳を受け、彼女たちの乱れた宴へと加わるのであった…

そしてその宴は続く…  
彼女の甘い嘲笑の音が鳴り止むことはなかった…。



悪堕ちた艦SS # 1 完